

沖縄県民投票

米軍普天間飛行場(沖縄県宜野湾市)の
名護市辺野古への移設

2019/2/24

開票率
98.7% 現在

	投票者の 得票数	全有権者 に対する 得票率
結果	賛成: 114,788	10.0%
	反対: 427,367	37.0%
	どちらでもない: 51,929	4.5%

投票結果に法的拘束力はなく、政府は今後も移設工事を進める方針だが、玉城知事は反対多数の結果を受けて政府に移設計画の中止や見直しを迫る考えだ。

沖縄で県民投票が実施されるのは、日米地位協定の見直しと米軍基地の整理・縮小の賛否が問われた1996年9月以来、2回目。条例に基づく都道府県単位での実施例は他にない。96年の県民投票は投票率59.53%で、「賛成」が投票総数の89.09%だった。

有権者数に対する割合
前回 53.0%
今回 37.5% (-15.5ポイント)

辺野古移設に反対する玉城知事を支える県政与党や企業、団体でつくる「オール沖縄」勢力は「圧倒的な民意を示す」として組織的な運動で「反対」の投票を呼び掛けた。一方、県政野党の自民や、中立会派の公明、維新は自主投票とした。【遠藤孝康、比嘉洋】